

福井県教員育成指標（仮称・案）を策定するにあたって

1 指標案の作成に係る基本的な考え方

○福井が求める教師像について

- ・福井県が求める教師像として、教員採用の時点より「学び続ける人」を求めている。その具体として設定している4項目を上部に示した。

○教員版と管理職版の教員育成指標の作成について

- ・福井県の特長として、異校種の人事交流が積極的に行われていることを踏まえ、教員の育成指標としては、校種や職ごとに詳細に示したものを提示するより、汎用性の高い教員すべてに共通するものを簡潔に示すこととした。
- ・管理職の指標としては、「学校経営者としての専門性（経営・組織マネジメント）」の資質・能力を育成することを示した。

○教員のキャリアステージについて

- ・教員それぞれの適性や置かれた状況によるステージとするために、年次を示したステージとはせず、各ステージ間も斜線で示して幅のある移行とした。
- ・特に「福井県が求める採用時の姿」では、新学習指導要領への対応や、教職課程コアカリキュラムの検討状況を反映して、「主体的・対話的で深い学び」、「小学校外国語」への対応や「学校インターンシップ」の実施等を想定して示した。
- ・その上で、第1ステージは、「教職の基礎を固める時期」、第2ステージは「専門性を高め、ミドルリーダーとして学校組織内の中心となって推進する時期」、第3ステージを「豊富な経験を生かし、シニアリーダーとして広い視野で組織的な運営を行う時期」として位置づけた。

2 今後、検討を要する事項

○校種ごとの示し方について

- ・幼、小、中、高、特別支援の各校種の中で、特に幼稚園に必要な事項については、留意事項を付す必要性などを検討すべきではないか。